

ジェンダーと文化

選 択

開講年次：2年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：人権問題やジェンダーの基本的な考え方について、基礎的な知識を習得する。また、ジェンダーを生み出す社会的な構造を理解し、最近のジェンダーの課題について、事例を通して考察する。現代の日本社会、あるいは国際社会の問題から具体的なテーマをとりあげ、現代社会における男女の性別秩序をとらえ、分析する。ジェンダーの問題はグローバルな問題であり、文献や資料も適宜、英語によるものを使用する。

■**到達目標**：①私たちのまわりの社会的・文化的事象を、ジェンダーという概念を通して分析、考察し、新たな知見を得る。
②ジェンダーをめぐるグローバルな状況や問題を理解する。
③積極的に情報収集し、得られた情報に基づいて論理的に自己の意見を述べる。

■**担当教員**：

松井 美穂

■**授業計画・内容**：

第 1 回 オリエンテーション：ジェンダーとは何か

第 2 回 「女性らしさ」／「男性らしさ」とは何か

第 3 回 フェミニズムについて

第 4 回 男性学について

第 5 回 セクシュアリティとジェンダー

第 6 回 家族とジェンダー

第 7 回 教育とジェンダー

第 8 回 労働とジェンダー

第 9 回 メディアとジェンダー

第10回 デザイン・アートとジェンダー

第11回 文学とジェンダー

第12回 言葉とジェンダー

第13回 性暴力とジェンダー（デートDV防止講座）

第14回 国際社会とジェンダー

第15回 まとめ

■**教科書**：講義時に適宜レジュメを配布する。

■**参考文献**：適宜授業にて紹介する。

■**成績評価基準と方法**：学期末レポート60%、授業参加度(コメント、小レポートなど)40%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
学期末レポート	◎	◎	◎	主張の明確さ、論述の仕方、情報収集方法、論文構成、書式など。詳しくは学期後半に講義中に説明する。2/3以上の出席を条件とする。	60
小テスト・授業内小レポート	◎	◎	○	授業の理解度、コメントにおける発見、意見、感想、疑問の有無、字数によって判断する。	40
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：現代社会と家族、教育を考える、現代社会と経済

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：この授業では毎回講義の最後5分～10分間に講義内容に関する小レポートの提出が求められる。時間が不足している場合は小レポートの提出がない場合もある。一つのテーマに関してグループディスカッションをすることもある。